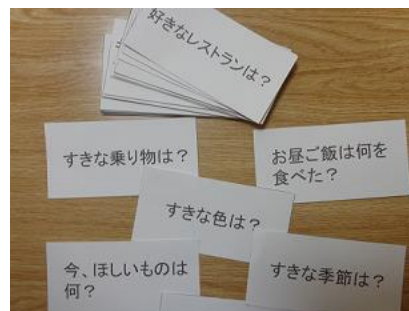


会話を続ける練習

小学校5～6年生のソーシャルスキルトレーニング（SST）教室では友だちと二人組で会話を続ける練習をしています。休日の出来事や好きなもの（こと）など、自由なテーマで会話をします。



話題の「お助けカード」

もし、話題に困ったら「お助けカード」を引いて、そこに書かれた質問をしてよいというルールになっており、できる限り会話を途切れさせずに続けていくことを目標にしています。

また、この活動のめあてはもう一つあります。それは「友だちの答えに対してさらにそれを深めるような質問をすること」です。例えば「日曜日は買い物に行ったよ。」という答えに対して、「どこに行ったの?」「何を買ったの?」などと質問することです。

子どもたちには、一つの話題に関してできるだけ長く会話を続ける力をつけてほしいと思っています。質問することがなくなってくると、子どもたちは「う～ん、何を聞こう。」と悩むことがあります。悩みながら、何とかして質問できることを考えて質問するという体験は、会話のスキルを上げるためにとても重要なことであると考えています。

れい
質問の例 ①

★ 理由をきく

- 何で～なの?
- どうして～なの?

れい
質問の例 ②

★ いつ、どこ、だれ、なにをきく。

- いつのこと?
- どこに行ったの?

黒板に掲示された「質問の例」を参考に質問する子もいます。